

京交山岳部報

例会予告 (2017年6月～7月)

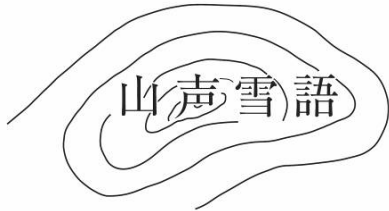
| 例会・行先 | 日程・集合 | 担当者 | コース |
|---|--|---|--|
| 第2761回 京都府下一斉 清掃登山 Gコース 高雄～保津峡落合 | 6月4日(日) 集合 市バス 高雄バス停 AM 9:00 | 方山宗子 岡田茂久 | 高雄～清滝～保津峡落合 |
| <p>備考 今年も下京山岳会と合同です。皆様ご協力をよろしく申し上げます。手袋、ゴミ袋は用意しています。火ばさみを持参いただければ楽です。雨天決行です。</p> <p>収集したゴミの集積は途中の清滝及び終点の落合で行います。</p> <p>参考 市バス日曜ダイヤ 四条烏丸発 8:08 四条大宮 8:13 西大路四条 8:18 天神川 8:28 高雄 8:54</p> <p>※ 帰途は希望者のみ、米買道～椿の水地藏～ツツジ尾根～JR保津峡駅コースを予定 (帰途にこのコースを希望の方は、昼食を含む簡単な日帰り装備で参加をお願いします。)</p> <p>天候不良の場合は府道経由JR保津峡駅コースとします。</p> | | | |
| 第2762回 西教山(点名 富永村) (2等△ 681.9) | 6月8日(木) 集合 参加者で 決定 | 吉田 武 | 京都東IC～新名神江南IC～柘植 ～蝙蝠峠～子延～登山口～西教山往復 ～R163伊賀市～信楽IC～京都 |
| 備考 日帰り登山装備 | | | |
| 第2763回 夏山大会 南アルプス アサヨ峰(2799m) 高峰(2779m) | 7月21日(金) ～24日(月) 集合 21日夜 参加者で調整 | 山下幸宏 | 21日 17:00～19:00 京都市内出発～ 22日 未明 戸台仙流荘駐車場で仮眠 5:15 バス乗車～6:30 北沢峠・・・7:00 長衛小屋・・・8:00 仙水峠・・・11:30 アサヨ峰・・・15:00 早川尾根小屋(泊) 23日 5:15 出発・・・広河原峠・・・9:00 高峰・・・10:00 アカヌケ沢ノ頭・・・ 12:00 白鳳峠・・・14:40 広河原 15:00 バスで北沢峠経由仙流荘(泊) 24日 帰路 |
| 備考 早川尾根小屋では自炊・シュラフ必要。参加者は担当者に連絡してください。 | | | |
| 6月の集会 日時 6月7日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズカフェ) | | 6月の企画運営委員会 日時 6月21日(水) 18:30～ 場所 holly's café(ホリーズカフェ) | |

7月の集会

日時 7月12日(水) 18:30~
場所 holly's café (ホリーズ カフェ)

7月の企画運営委員会

日時 7月26日(水) 18:30~
場所 holly's café (ホリーズ カフェ)



5月のゴールデンウィークにハワイに行った。ゴールデンウィークでも4月27日出発の航空券は比較的安く買うことができた。5歳の孫娘を連れて約30年ぶりにダイヤモンドヘッドに登った。標高2322mで登山口から30分ほどで山頂に着く。山頂からはワイキキビーチや緑の山々が眺望でき、昔と景色はほとんど変わっていなかった。山頂は様々な国の人々で賑わっていた。とりわけ多かったのは日本人である。さすが5月の連休、日本人に人気のハワイだけあって、日本人観光客は世界の観光地を席捲している中国人を凌駕する勢いであった。

韓国では大統領選挙があり、北朝鮮との対話(融和)を掲げる候補が当選した。そして弾劾で解任された前大統領よりも、より一層反日的な政策を採るのではといわれている。韓国への日本人観光客は最近急減している。慰安婦像や竹島の問題等で韓国人は日本を敵視しているのではという思いからか、あるいは反日的活動に対する嫌悪感からかも知れない。逆に韓国から日本に来る観光客は増大しているし、韓国人が日本人全体を嫌っているようには思われない。小生は今でも毎年韓国に行く。女房が韓国の辛い魚介料理が大好きなこともあるし、旅費も安いので昔からよく行っている。ソウルでもプサンでも韓国の人々、とくに若い人々は我々に非常に親切である。若い人々はよく勉強しているし英語も上手い。大学進学率も日本より高い。しかしながら彼等はいくら勉強しても就職は厳しい。財閥による経済独占と、コネ採用が多いと聞く。その不満の捌け口が反日運動だとは言えなくもないが、彼等は現在の日本の政治動向をよく観察しているようである。個々の日本人への対応と、日本政府への反発は区分しているのである。確かに日本の戦前への回帰志向は顕著である。教育勅語を幼い児童に暗誦させて、総理大臣婦人が立派な教育であると言う時代に日本はなっており、それによっても安倍首相支持率はほとんど変わらないのである。大昔から日本に朝鮮半島から多くの人々がやってきて、大陸の文明をもたらし、土着の人々と同化してきた。ハングルと日本語とは共通点が多い。要は日本人も朝鮮人ももとは同じ根っこである。もっとも同じ民族同士が凄惨な殺し合いを繰り返してきたのも、人類の歴史ではある。指導者の命令に忠実に従わなければ生きていけない国にだけはなあってほしくないと思うが、未来のことは誰も予測できない。

(2017. 5. 15. 記 文責 S. I.)

平成29年5月14日（日）

山岳連盟自然保護委員会主催「府民新緑観察会」

岡田 茂久

天候も上々で叡電出町柳駅は早朝から多くの観光客の姿も見られ、集合時刻9時には岳連旗を目印に多くの参加者が集合、連盟会員24名、一般14名（内小児2名）、委員10名に現地地元からは二ノ瀬の西村区長が参加され、総勢49名の賑やかな観察会となった。

鞍馬行の電車は市原駅を出ると、車窓すれすれに新緑の「モミジのトンネル」を徐行運転し「二ノ瀬」駅に到着。秋には見事な黄葉を見せる二ノ瀬老人クラブ前の銀杏の大木は、今は新緑を鮮やかに彩っている。

クラブ前広場で委員長から挨拶と注意事項を伝達、10時発で夜泣き峠に向かい出発。さすが同勢50人が一列で山道を登るのは壮観である。ゆっくりと30分かけて（10：30）には夜泣き峠に到着。

早くもヒル出没の情報で、全員が防虫スプレーを靴とズボンの裾に噴霧し万全を期す。

とりあえず目的の貴船山近辺まで直行することになり、峠からは京都一周トレイル北山コースとは逆に尾根を北行する。

広い尾根が緩やかに登り降りする大岩分岐までこのコースは、いつ来ても気持ちの良い道である。大岩分岐に（11：25）到着し大休止。大岩分岐の先から尾根コース（見晴らし良好コース）を取り、目的の自然観察エリアに（12：35）到着する。早々に昼食を摂り中島講師の講義を聴く。

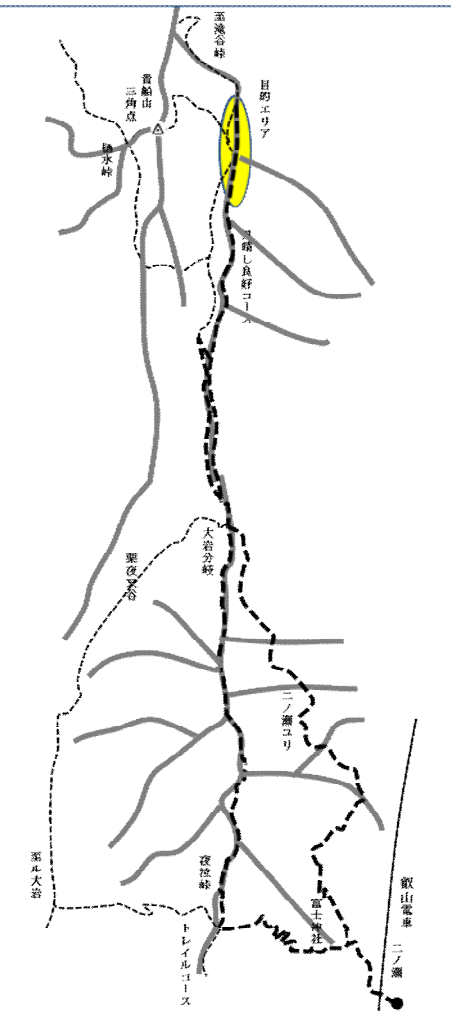
周囲を見渡すと二ノ瀬ユリ、夜泣き峠、大岩分岐、貴船山周辺はほとんどが植林と2次林であるが、この周辺だけはケヤキやモミ、アベマキ・コナラの大木に混じり、ウラジログシ、ツクバネガシ、カエデ等が混在し全く異なった林相である。

試しにケヤキの大木の周囲を図ってみると3m40cm。

そんな大木が何本もある。京都でも貴重な森という事である。

いつまでも興味は尽きないが、時間に限りがあるので往路を引き返し、途中から並行する二ノ瀬ユリ道に合流して大岩分岐に（14：40）、二ノ瀬ユリを富士神社から二ノ瀬に下山する（15：30）。二ノ瀬老人クラブ前で講評のち解散。

最近、30分おきに鞍馬温泉発、国際会館行の京都バスが走るようになったという事で、二ノ瀬からの国際会館まで利用した



が非常に便利である。

京交参加者 方山宗子、岡田茂久

昨年9月に企画したが秋雨前線による大雨のため登頂断念（2016年11月号部報に報告）した。今回はそのリベンジでもあるが、絶好の好天に恵まれ登頂することができた。

5月17日（水）午後7時に自宅を出発、R24を南下、五条からR168号線十津川路に入り、道の駅大塔で仮眠をとった。昨年は豪雨被害でR168が寸断されていたので、紀伊田辺回りで来たが、今回はR168の復旧が進んでいると聞いたので利用した。それでも十津川流域の豪雨の傷跡ははまだ生々しくいたるところで崖崩れしており、復旧工事が続いている。翌早朝5時に道の駅を出発、登山口の果無集落に6時着。駐車場が4台分あり立派なトイレもある。集落の標高は400mであるから十津川岸の蕨尾からは250mの高低差がある。地元のおじさんから蕨尾から登り、熊野本宮へ下りるのが果無越えの本来の参詣道であると皮肉られたが、易きに流れてしまう俗人なので許してほしい。果無峠への登りは熊野古道の中でも最も厳しいといわれている。川岸からの標高差は約900mある。道はよく整備されているが、世界遺産に指定されてから本格的に整備されたようである。果無峠までは杉・檜の植林の中を通る。途中標高50mおきくらいに石の観音仏が立っている。4分の3ほど登ったところに観音堂があり、最後の水場もある。観音堂には3体の石仏が安置されており、それを覆うように石楠花が満開の花を咲かせている。果無峠（標高1070m）はなだらかな広い尾根であり、木陰のよい休息場である。熊野本宮への参詣者はここまで来て、後は下ったところに目指す本宮があると思えば一息入れたであろう。石地力山へはなだらかな尾根を辿る。植林はなく照葉樹林の原生林が続く。ブナの新緑が眩しい。快適な尾根歩きで2つ目のピークが石地力山である。2等三角点(1139.5)

が鎮座している。風もほとんど無く、山頂からは高野山方面の重畳たる山並みが望める。山々は5月の新緑に明るく輝いていた。下りの観音堂でクラブツーリズムの20人ほどの登山ツアーグループに出会った。高野山から小辺路を歩いて本宮まで行く6日間のツアーとのこと。修験者装束の先達に率いられていた。ほとんどが小生よりも年上に見えた。

果てし無き 山の連なりうすみどり 澄夫

果無や 石楠花おほふ 観音堂 澄夫

帰路は本宮からR311で白浜に出て、とれとれの湯で汗を流し海鮮丼を食して帰った。



石楠花と観音堂



果無峠の道標



石地力山 2等三角点



石地力山頂から高野山方向を望む

[コースタイム]

5月17日 19:00 自宅出発～22:00 道の駅大塔 (仮眠)

5月18日 5:00 道の駅大塔～6:00 果無集落登山口(朝食)6:50・・・8:40 観音堂 8:50・・・

9:30 果無峠(1070m)9:40・・・10:20 石地力山(2等△1139.5)10:40・・・11:40 観音堂 12:00～13:00

果無集落～14:30 白浜とれとれの湯(入浴・食事)16:00～(阪和道・近畿道・第2京阪経由)19:00

自宅

[参加者] 井戸澄夫、他1名

【個人山行報告】 H29.4.29

金勝アルプス 鶏冠山(490.9m)

鳥丸 山下幸宏

ゴールデンウィークに入り、混雑を避けるため、近場で手軽な山行を前日に計画。しかもこの日の天気予報は晴れのち雨で、昼過ぎから上空に寒気が入ってくるとのことだった。

6時30分山口さん自宅出発。東インターから草津田上で降り、上桐生バス停奥の駐車場に7時過ぎ到着。早朝だったので駐車場管理人はおらず、また他の登山者数名で静かであった。7時12分登り始める。本来、落ヶ滝から天狗岩を目指す予定であったが、なぜか鶏冠山のコースに入ってしまう。仕方ないのでそのまま進んだ。途中、花が所々咲いていて綺麗だった。8時15分、子鶏冠山。栗東トレセンと三上山が見える。10分後に鶏冠山登頂。記念写真を撮り、眺望が良くない為、さっさと歩きだす。その後、風景は岩稜が目立ち始め、足元はざらついた花崗岩で滑りやすかったが、緩やかな心地よい登りが続いた。天狗岩は、次第に大きく見え、時折冷たい風が強く吹く。そして天狗岩に登った。岩の上で眺望を堪能していたら、こちらから頼んでもいないのに、他の登山者が「撮りましょか」と声をかけてきたので、せっかくだからシャッターを押してもらった。10時20分、昼食には早い。白石峰で、眼下に新名神を見ながらカレーを食べる。山口さんは、カップヌードル。次第に風が強まり曇りだし、食べ終わってすぐ出発、竜王山には行かず下山方向に進み、狛坂摩崖仏の前を通過し、新名神のガードをくぐり、逆さ観音に12時、駐車場には12時20分に戻った。天気は持ち直し、晴れであった。バーベキューしている人々がたくさんいる。羨ましかった。そして駐車場の管理人に500円を払い、草津極楽湯に寄った。その後、風呂から出て車に乗っ

た瞬間、雨がザーッと降り、おまけに雷が鳴り、雨に打たれずに済んだ。自宅には15時20分に帰った。この1日計画通り動けて満足した。

【参加者】 山下幸宏 他1名



【個人山行報告】 H29. 5. 11

低山ハイクシリーズ

点名「田山村」 2等三角点 290.9m

吉田 武

例会 2575 回の再行. 先月の例会で道に迷って登れなかった点名「田山村」に行ってきました。

ルートは 24 号線の上粕から R163 を走り JR 月ヶ瀬駅を潜り、南山城村田山地区から月ヶ瀬 CC に抜ける県道をヒヤデに入り登山口を探したがなかなか見つからない何度か県道を往復して地図と照らし合わせたが、地図と地形が合点がいかない。

以前来たところと同じ道を走ったがわからないので、車を止めて地図を見直したら、綺麗なアスファルトの道があるので県道に車を止めて登って行った。周囲は茶畑で今は収穫時期なので電動バリカンで茶を摘んでいるので聞いてみたら三角点の山はあれだと言って指をさしてくれたので、茶畑の中の林道を登って行った。峠のあたりで左側に入る踏み跡でもないか探したが見つからず仕方なく地図を見ながら山勘を働かせて 100m ほど登ったら、樹木の生い茂った所に三角点「田山村」があった。やっと見つけた感じで辺りには何もなくてテープを使って点名を記しておいた。

【参加者】 他 1 名



【個人山行報告】 H29. 5. 18

低山ハイク

笹見（ささみ）四十八滝 周回コース

吉田 武

好天が続く中で、今日は篠山市まで足を延ばす。R9 号から R372 号といつも瑠璃溪温泉に行く道をたどり、篠山市に入る。「安田の大杉」から R173 に入り、上笹見 四十八滝コースの入り口のひろばに駐車、看板と地図を見ながらチェックして出発。なだらかな良い登山道で、多紀連山ハイキングコースと書いてあるが、それと共に笹見四十八滝周回コースとも書いてある。少し登ると急坂になって最初に見えてきたのが、「手洗い滝」 20m 位であるが手を洗うのにはもったいないような滝である。この滝を過ぎると岩登りのようなコースになってきた。ロープや鎖がでてきて息が切れる。無理をせずに一步一步登った。「肩ノ滝」と「弁天滝」水量は少ないが、かわいい滝群である。続いて「長滝」そして細長い「シャレ滝」しかしここまではロッククライミングのコースであるが、ここからも同じような鎖が続いた。

「大滝」を過ぎて「一の滝」と「二の滝」が連続で落ちていた。少しガレ場を登ったら四十八

滝めぐりの終点だった。

写真を撮りながら登ったので、2時間近くかかった。コースは小さなピークを過ぎるとなだらかな樹林帯にはいった。新緑がまぶしいくらい美しいコースが続いた。多紀連山縦走コースと別れて周回コースから笹見四十八滝コースの入り口まで下った。久しぶりの岩登りを味わった。

【参加者】 他1名



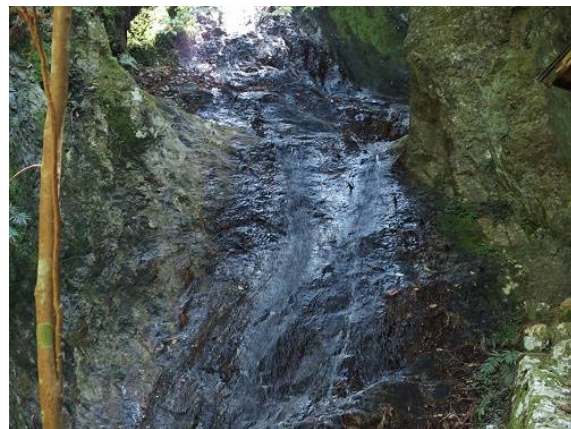
笹見四十八滝看板



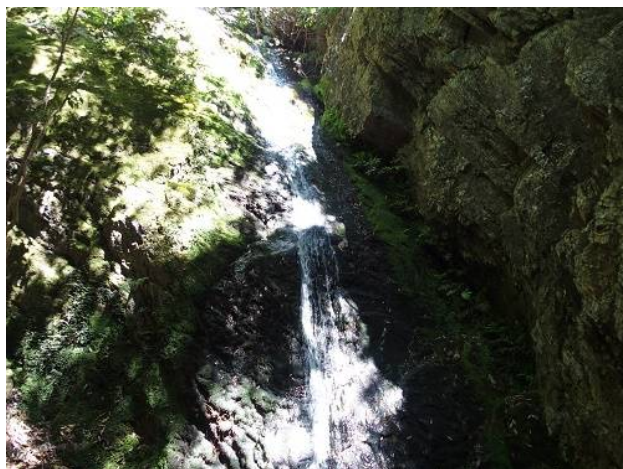
弁天滝と肩ヶ滝



手洗い滝



弁天滝



長滝



一の滝・二ノ滝

例会報告(まとめ)

| 例会 No. | 目的地 | 天候 | 月 日 | 担当者 | 参加者 | 記 事 |
|-----------|--------------------------------|----|------------------------------|--------------|-----|---------------------|
| 2758 | 犬ヶ丈山 (3等△521.7) | | 平成29年 5月10日(水) ～11日(木) | 吉田 武 | | 都合により 延期し ました |
| 2759 | 山岳連盟自然保護 委員会主催 「府民新緑観察会」 | 晴れ | 平成29年 5月14日(日) | 方山宗子 岡田茂久 | | 別稿詳報 |
| 2760 | 熊野古道 果無越えと 石地力山 | 晴れ | 平成29年 5月17日(土) ～18日(日) | 井戸澄夫 | 他1名 | 別稿詳報 |

雑 報

△△△ 5月の集会

日 時 5月10日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 井戸、岡田茂、森本、吉田、和田、清水 6名
内 容 例会結果、例会予告、個人山行、岳連関係報告ほか

△△△ 4月の企画運営委員会

日 時 4月26日(水) 18:30～
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出 席 者 井戸、清水
内 容 例会予告、岳連関係報告、総会準備ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

5月号 京都山岳、趣味の登山、比良山岳、木雞

△△△ 部報投稿について

部報投稿は今までどおり、部報編集担当者(井戸:携)までお願いします。
また、投稿締切りは毎月20日に変更しました。

△△△ 部報発送担当からのお知らせ

職場の異動に伴い、部報の発送先、発送方法に変更がある場合は、必ず部報発送担当者

(松田：携)まで連絡してください。
 パソコンに部報データを送信することもできます。送信希望の方はパソコンのメールアドレスを部報発送担当者に連絡してください。

△△△ 平成 29 年度部費について

平成 29 年度部費は平成 29 年 3 月 15 日総会での議決により、年間 3、000 円に変更になりました。また、郵送希望の方は今までどおり郵送料 1、000 円を足して年間 4、000 円に変更になりました。

平成 29 年 5 月 19 日 (金) 現在、次の方から平成 29 年度部費を受領していましたので報告します。

(敬称略) 篠田勝美、吉田武

△△△ 京都府山岳連盟総会について

次のとおり、平成 29 年・30 年度 連盟役員の改選がありました。

(敬称略)

- | | | | | |
|---|-------|----|-------|------------------------|
| 1 | 会長 | 再任 | 四方宗和 | (京都比良山岳会) |
| 2 | 副会長 | 再任 | 坂元滋幸 | (競技・海外担当 京都趣味登山会) |
| | 副会長 | 新任 | 松本二郎 | (トレイル、広報公益委員会担当 京都山の会) |
| 3 | 名誉会長 | | 栗飯原一成 | (京都山岳会) |
| | 顧問 | | 斎藤惇生 | (京都大学学士山岳会) |
| | 同 | | 中島道郎 | (京都大学学士山岳会) |
| | 同 | | 平林克敏 | (同志社大学山岳会) |
| | 同 | | 塚本珪一 | (京都府立大学山岳会) |
| | 同 | | 中村祈美男 | (京都愛宕山岳会) |
| | 同 | | 横田明男 | (京都山の会) |
| | 同 | | 林 辰夫 | (京都趣味登山会) |
| | 同 | | 岡田茂久 | (京都市交通局山岳部) |
| | 同(新任) | | 大西康郎 | (京都熊笹会) |
| | 同(新任) | | 大西外茂治 | (京都趣味登山会) |
| | 同(新任) | | 深見良治 | (京都市中体連登山専門委員会) |
| | 同(新任) | | 伊佐 登 | (ホルン山岳会) |
| | 同(新任) | | 松田謙介 | (京都雪稜クラブ) |
| | 同(新任) | | 広澤誠吉 | (京都岳人クラブ) |
| | 同(新任) | | 宮永幸男 | (京都下京山岳会) |
| | 同(新任) | | 竹内康之 | (個人会員) |

4 理事長、常任理事等

| 再新別 | 役職 | 氏名 | 担当業務 | 所属団体 |
|-----|-------------------|------|-------------|----------|
| 再任 | 理事長 | 湯浅誠二 | | 京都・亀岡山の会 |
| 同 | 副理事長 | 木澤正人 | 指導委員会 | 京都市役所 |
| 同 | 副理事長 兼 事務局長 | 加藤宗利 | | 京都ZEROCC |
| 同 | 常任理事 | 清水 豊 | 指導遭対委員会指導担当 | 京都岳人クラブ |

| | | | | |
|-----|------|------|----------------------------------|------------------|
| 同 | 同 | 森裕紀子 | 指導遭対委員会遭対担当副 委員長 日山協遭対常任委員 | 京都下京山岳会 |
| 同 | 同 | 唐橋芳和 | 指導遭対委員会遭対担当 | 岩峰会 |
| 同 | 同 | 小泉良明 | 指導遭対委員会遭対担当 | 京都山岳会 |
| 同 | 同 | 戸田和樹 | 競技強化委員会 | 京都比良山岳会 |
| 同 | 同 | 榎本幸博 | 会計兼競技委員会 | 高体連登山部 |
| 同 | 同 | 林 雅樹 | 海外委員会 | 個人会員 |
| 同 | 同 | 山本憲彦 | 自然保護委員会 | 京都比良山岳会 |
| 新任 | 同 | 竹内光雄 | トレイル委員会 | 島津ワンダーフォー ーゲル |
| 同 | 同 | 下川博司 | トレイル委員会 | 京都稜線万歩会 |
| 同 | 同 | 尾松建二 | 広報公益委員会登山学校担 当 | 下京山岳会 |
| | | | | |
| 新 任 | 会計監査 | 松田謙介 | 会計監査 財務指導 | 京都雪稜クラブ |
| 同 | 同 | 広澤誠吉 | 会計監査 財務指導 | 京都岳人クラブ |

5 専門委員会委員長

| | | | |
|-----|---------|---------|-------------------|
| 再 任 | 指導遭対委員長 | 木澤正人 | 京都市役所 |
| 同 | 競技強化委員長 | 戸田和樹 | 高体連登山部 |
| 同 | 海外登山委員長 | 林 雅樹 | 個人会員 |
| 同 | 自然保護委員長 | 山本憲彦 | 京都比良山岳会 |
| 新 任 | トレイル委員長 | 竹内光雄 | 島津ワンダーフォー ーゲル部 |
| | 広報公益委員長 | 湯浅理事長兼務 | 京都・亀岡山の会 |

《新入部員募集中》

平成29年6月1日

京都市右京区太秦下刑部町1-8

京都市交通局内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp>